

令和3年度 第1回松田町地域公共交通会議 議事録

日 時 令和3年11月5日(金) 13:30~15:00

場 所 役場 4階 4AB会議室

出席者 構成員：別紙「出席者名簿」のとおり

※30名出席(うち委任状6名)・1名欠席

事務局：政策推進課

鈴木、鍵和田、杉崎、市川(官民連携まちづくりアドバイザー)

【会議次第】

- 1 開会
- 2 副町長あいさつ
- 3 委員紹介
- 4 会長あいさつ
- 5 新たな交通施策への取組みについて
- 6 協議事項
 - (1) 松田町地域公共交通会議設置要綱・事務局規約・財務規約の改正案について
 - (2) 足柄広域新モビリティサービス推進協議会設置要綱(案)について
- 7 その他(情報共有など)
 - (1) 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正について
 - (2) バスロケーションシステムの導入等について
 - (3) 買い物支援事業について
 - (4) 町の地域公共交通対策について
- 8 閉会

【会議概要】

- 1 開会
 - ・事務局より開会のあいさつ。
 - ・委嘱状を机上配布とする旨説明。
- 2 副町長あいさつ
 - ・公共交通は全国の自治体で課題として議論されている。地方では深刻な課題。
 - ・松田町は、10月1日現在の高齢化率が34.8%。
 - ・免許返納も多くなってくるため、公共交通が大切になってくる。
 - ・それぞれの立場から、ご意見をいただきたい。
 - ・新たな交通施策に取り組む。

3 委員紹介

- ・自己紹介
- ・令和3年度から、「官民連携まちづくりアドバイザー」として委嘱した、市川和男氏を紹介。

4 会長あいさつ

- ・コロナ禍で予断を許さない状況であるが、ご理解をいただき、対面で開催させていただき感謝する。
- ・交通の要衝ではあるが、バスの減便などにより、必ずしも町民のニーズを満たしていないのではないかと考えている。
- ・新たな交通施策や各種共有事項などについて説明させていただくので、皆さまから忌憚のない意見をいただきたい。

5 新たな交通施策への取組みについて

●事務局

～資料1を基に説明～

6 協議事項

- ・委員31名のうち24名出席しており、会議が成立していることを事務局より報告。
※欠席者7名のうち6名については委任状の提出あり。

(1) 松田町地域公共交通会議設置要綱・事務局規約・財務規約の改正案について

●事務局

～資料2-1、2-2、2-3を基に説明～

○委員

- ・設置要綱では、「地域公共交通計画の作成に関する協議等を～」とある。新モビリティサービスについては、再生化活性法の36条が基になるが、新モビリティサービス事業計画の策定については、この「協議等」で読むという事か。

●事務局

- ・本交通会議ではなく、別の要綱（足柄広域新モビリティサービス推進協議会）を作って対応する。

○古舘会長

- ・質問等はないようなので、承認いただいたこととして進めます。

(3) 足柄広域新モビリティサービス推進協議会設置要綱（案）について

●事務局

～資料3を基に説明～

○委員

- ・名称について、なぜ「足柄」なのか。

●事務局

- ・今回はあくまでも松田町を起点にして計画を策定していくが、松田町に限らず、近隣の山北町や大井町、南足柄市においても地域の足の確保が課題となっていることを踏まえて、計画を策定する段階から松田町を起点に広域的な広がり視野に入れている。このエリアが良くなってほしいと期待し、このネーミングとしている。

○古舘会長

- ・本交通会議の分科会として、足柄広域新モビリティサービス推進協議会が発足することにご理解いただきたい。広域的な名称だが、期待を込めるということと理解する。
- ・その他質問等はないようなので、承認いただいたこととして進めます。

7 その他

(1) 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正について

○国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局

～当日配布資料を基に説明～

●事務局

- ・足柄広域新モビリティサービス推進協議会設置要綱について1点補足させていただく。交通空白地域の認定には、運営協議会が必要になる。運営協議会の機能を足柄広域新モビリティサービス推進協議会に併せ持たせる形をとりたいと考えている。

(2) バスロケーションシステムの導入等について

○富士急湘南バス株式会社

～当日配布資料を基に説明～

(3) 買い物支援事業について

○町社会福祉協議会

～当日配布資料を基に説明～

(4) 町の地域公共交通対策について

●事務局

～資料4を基に説明～

○委員

- ・山北町や大井町との兼ね合いについて、町同士がしっかりと情報共有とともに、連携することが大事。「足柄広域新モビリティサービス推進協議会」なので、連携が充実してくるとよいと思う。

●事務局

- ・その通りだと思う。デマンドバスの実証実験を行った際にも秦野市と調整を行った。「お互い利用できるようにしよう」を行政同士でも話をしている。現在も双方で乗り降りできる状況。
- ・大井町や山北町、南足柄市には、新たな取り組みについて情報共有し、将来的には連携していきましよう調整している。
- ・広い視野での計画を策定していきたい。具体的に連携がとれるようになった段階で、改めて委員となっていただくなどその都度考えていく。

○青木副会長

- ・大きな問題として、お店がない。松田町が中心だが、スーパーなどがある大井町や開成町としっかり連携しないと、孤立してしまう心配がある。

○古舘会長

- ・広域的に進めることは重要。注意して進めていただきたい。

8 閉会（青木副会長）

- ・承認いただいた事項の「(案)」は削除していただきますようお願いいたします。

以上